



KFR セミナー

船舶粘性流体力学の俯瞰 —境界層理論研究発展の歴史とその後—

KFRの設立は1970年1月。前年の1969年に大型計算機センターが法制化され、全国の大学に設置された時期でした。流体力学研究が手動計算機から電子計算機へと計算手段が移行し、計算機を利用した本格的な研究が始められたこの時期に、KFRが設立されたことは象徴的です。

今回のKFR例会ではこの黎明期に境界層計算の分野で多くの業績を残された田中一朗大阪大学名誉教授と関西の研究グループの足跡を辿るとともに、今日の研究活動の展開へと繋がる流れを俯瞰し、将来展望を考えることを目的として、例会を開催します。ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお待ちしております。

KFR 会長 田中 寿夫

— 記 —

第346回 KFR セミナー

- 日時：2019年10月18日（金）13:00～17:30
- 会場：大阪大学理工学図書館ホール（吹田キャンパス）
大阪府吹田市山田丘2-1
- 参加費：2,000円，要事前登録

コーディネーター：西尾 茂氏（神戸大学教授）

第1部：境界層計算黎明期の発展を辿る（13:00～14:30）

田中一朗先生が境界層計算を中心とする船舶粘性流体力学分野で残された業績を辿るとともに、その後の境界層計算の発展を解説します。

境界層計算の黎明期と田中一朗先生の足跡 田中 寿夫氏（ジャパン マリンユナイテッド（株））
境界層計算の発展 戸田 保幸氏（大阪大学教授）

第2部：船舶粘性流体力学の展開（14:45～17:30）

船舶粘性流体力学の研究は、境界層計算導入の後も発展を続けています。ここでは現在の研究の展開を、理論・数値計算・実験技術などの観点から解説します。

摩擦抵抗の推定	勝井 辰博氏（神戸大学教授）
乱流研究の動向	藪下 和樹氏（防衛大学校准教授）
研究設備の動向	宇都 正太郎氏（海上技術安全研究所所長）
計測の不確かさ	西尾 茂氏（神戸大学教授）

ご参加のお申し込みは、10月11日（金）までに下記連絡先までお願い致します。

またセミナー終了後の17:30から懇親会（場所：La Scena（阪大内）、参加費：一般＝6,000円・学生＝3,000円）も予定していますので、こちらにもぜひご参加ください。

なお、お手数ですが、参加申し込みの際には懇親会への参加希望についても併せてご連絡をお願い致します（懇親会参加の取り消しに関するご連絡は前日までお願い致します）。

ご参加申し込み連絡先：関西船舶海洋流体力学研究会（KFR）事務局
牧 敦生（大阪大学大学院工学研究科）
TEL：06-6879-7579 FAX：06-6879-7594
E-mail：maki@naoe.eng.osaka-u.ac.jp

会場までのアクセス

(大阪大学 船舶海洋工学コース HP より転載)
<http://www.naoe.eng.osaka-u.ac.jp/access.html>



図1 吹田キャンパスまでのアクセス

(大阪大学 吹田キャンパスマップ HP より転載)
<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/suita/suita.html>



図2 会場および懇親会場へのアクセス

●電車・バスによるアクセス

大阪モノレール彩都線 阪大病院前駅より 徒歩15分

阪急千里線 北千里駅より 徒歩15分

JR茨木駅, 茨木市駅から近鉄バスで「阪大本部前」下車 (所要約30分)

北大阪急行線千里中央駅から阪急バスで「阪大本部前」下車 (所要約20分)

「阪大本部前」より 徒歩5分

以上